

2017年2月12日(日)13時 開始  
(12時30分 開場)

佐倉市立中央公民館(佐倉市錦木町198-3)  
参加費:無料(参加申込み不要)

# まちづくり フォーラム

～地域主体のまちづくり～  
(平成28年度市民協働推進講演会&報告会)

### 内容

市民協働に関する講演や各種市民活動団体による報告・PRを通して、  
みんなでまちづくりについて考えるフォーラムを開催します。

第1部 平成28年度市民協働事業の報告

第2部 講演会「地域主体のまちおこし」

講師 豊重 哲郎 氏(柳谷自治公民館 館長)



市民活動団体ポスター展、市民活動相談コーナーもあります。

問い合わせ: 佐倉市役所 自治人権推進課 ☎043-484-6127

### 第2回傾聴講座

2月18日(土) 13時30分～15時30分

### 第3回傾聴講座

3月5日(日) 13時30分～15時30分

### ボランティア活動の事例発表等

3月19日(日) 13時30分～15時30分

定員:40名

対象:佐倉市在住・在勤・在学の方

参加費無料

佐倉市南部地域福祉センターB棟研修室

お問合せ ☎043-486-5151

主催 佐倉市南部地域福祉センター

### JERRY BEANS ライブ&トーク

手をつなごう涙をふいて♪

2月25日(土) 13時30分開演

ミレニアムセンター佐倉 2F ホール

参加費 前売券 500円(当日券 700円)

定員 100名

元不登校・ひきこもりの若者  
たちので構成されたバンドで、  
自らの体験とメッセージを、  
歌と語りで伝えます。



お問合せ ☎043-309-8667

主催 NPO 法人ワーカーズコレクティブ風車 後援 佐倉市

### 朗読のつどい

3月15日(水) ミレニアムセンター佐倉

1回目 10時開演 (9時30分開場)

2回目 14時開演 (13時30分開場)

第1部 「初恋 嵯峨の屋お室著」

第2部 「佐倉ばなし - 佐倉に伝わる話・伝説」

朗読サロン「こおろぎの輪」は、視覚障がい者を始め  
一般市民に、朗読により佐倉の歴史と文化を紹介して  
います。恒例の朗読会をお楽しみください。

入場無料・申し込み不要

お問合せ 朗読サロン こおろぎの輪  
☎043-484-1284 (内田さん)

### 印旛沼春季クリーン活動

3月11日(土) 9時30分～

佐倉ふるさと広場管理棟「佐蘭花」前

「佐倉印旛沼ネットワークの会」による恒例の印旛沼  
周辺の清掃活動。「佐倉朝日健康マラソン大会」を間近に  
控え、ランナーに気持ちよく走って頂く為に印旛沼周辺  
のコースを清掃します。皆さまのご参加をお待ちして  
おります。

申し込み不要

お問合せ 佐倉印旛沼ネットワークの会 事務局  
☎043-489-9942 (塩田さん)

# まちづくり

平成28年度 「地域活動団体」のご紹介  
～環境&防災～



環境 故郷の沼をきれいに！

佐倉印旛沼ネットワークの会

「佐倉印旛沼ネットワークの会」は、市民大学「佐倉市民カレッジ」の7期生を中心としたメンバーで平成



平成27年5月に行われたクリーン活動の様子

11年に発足、佐倉の自然を代表する印旛沼の環境美化を目的に立ち上げました。

印旛沼周辺のゴミ拾いを始め、印旛沼に増える特定外来植物の植生調査を沼と岸辺の両面から実施しており、10年以上に亘る記録は印旛沼の環境変化を知る上で貴重なデータとなっています。



チューリップ球根植え付けの支援活動

また、佐倉ふるさと広場で開催される「チューリップフェスタ」の支援活動も行っており、毎年秋に子ども達が植えつける球根の植栽を指導しています。フェスタ開催中には、会場内に

ブースを設け、パネルを展示するなどして会の活動を紹介、情報発信に努めています。その他にも、浄水場や排水機場、周辺湖沼などへの見学会や小学校の環境学習に協力するなど、印旛沼を軸とした環境活動に精力的です。特に、活動の原点ともいえる印旛沼周辺のクリーン・美化活動は大切に継続しており、季節毎とコースとして使用される「佐倉朝日健康マラソン大会」前など、昨年は9回実施。多いゴミはペットボトル、カン、ビン、たばこの吸い殻ですが、寝具やバイクといった大型のゴミも見られます。最近では、市内の地元企業と合同で活動に取り組むなど、新たな連携のかたちに大きな意義と広がりを感じています。

会の願いは、故郷の沼がきれいになること。その為にも印旛沼がもっと親しみやすい水辺環境となり、印旛沼を身近に感じることで皆が興味関心を抱き、各々が自分のできることを日頃から取り組んで貰うと環境美化に繋がると期待を寄せています。

会員数は110名を誇るものの、70歳以上が大半で会の高齢化が心配されています。代表幹事の小島以久男さんは、約10年前、趣味のサイクリングを通じて会の活動に触れ入会しました。活動は自然の中に身を置いて行う作業が多くとても健康的。自然や体を動かすことが好きな方など、新しい仲間を随時募集しています！どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。

佐倉印旛沼ネットワークの会事務局  
TEL/FAX. 043-489-9942 (塩田さん)  
http://numanokai.web.fc2.com/

環境 里山で安らぎを！

佐倉里山ガーディアン

平成16年4月に発足した「佐倉里山ガーディアン」は小竹地区を中心に自然保護と美化に取り組んでいます。



田んぼ体験

代表の飯田富雄さんは40歳で大病を患いましたが、療養後、仕事場の工場の裏山へ「これからはできるだけいい空気を吸おう」と思い、出かけるようになりました。佐倉市はまちが発展し、住宅地が広がる中でも、水と緑ゆたかな里山がありますが、いざ入ってみると山の中は荒れ放題。そこで、飯田さんが目をつけたのが、小竹城跡地とされる敷地を囲む土塁です。県下でも珍しいであろうこの土塁のほとんどが篠竹や雑草などで隠れてしまっていました。この小竹城の周辺を道々歩きながら、片付けていったのが始まりです。

現在の活動は主に小竹地区周辺で放置されている里山の再生とその保存をガーディアン広場を拠点に取り組んでいます。また広場に隣接する畑を耕作し季節の野菜の収穫を楽しんだり、近隣のNPO団体と連携して、参加者を集い田植えから稲刈りまでをする田んぼ体験、竹林の整備で刈った竹を使い、年末に行っている親子門松作りも大変好評で、今年度も32組の方が参加しました。



親子門松作り

緑が豊かであれば、きれいな水が得られ、木の実や山菜などが採れ、動物が生きます。そして木々は二酸化炭素をとらえ酸素を生み、さらに緑豊かになります。また環境温度を一定に保つ調整機能を持ち、人の心を癒す抗菌作用などもあると注目されています。

緑豊かな森林では人は安らぎ、緑が元気であれば人は元気に生きることができると思います。その環境を無償で与えてくれる里山にこれからも恩返しをしたい。活動に参加している方の高齢化も進む中、環境保全の大切なことは続けることだと思っています。

活動は都合のつく日、時間で大丈夫です。ぜひ、里山再生と環境保全を通じて仲間づくりと健康づくりを目指し、自然の中で爽やかな汗をながしませんか。会員募集は随時行っています。

佐倉里山ガーディアン連絡先  
TEL. 070-6981-5528 (飯田さん)  
http://www.catv296.ne.jp/~satoyama/

防災 防災意識の底上げを！

西志津さくら自治会自主防災会

「西志津さくら自治会自主防災会」は、平成11年に設立され、西志津さくら自治会（620世帯）のエリアを対象に、地震その他の災害による被害の防止及び軽減を図ることを目的に、各種活動を行っています。

【地域住民の防災意識の底上げ】



防災セミナー

当初は、市や消防署の協力を得て、起震車や煙中の体験、消火器やAEDの使用法、備蓄倉庫、非常水源、炊き出しの説明や見学等、一般に行われている防災教育を中心とした訓練を、毎年6月と10月を目安に行ってきました。

平成25年からは、近年の災害事情の変化を受け、さらには訓練の実効性をより高めるため、防災活動の文書化を行いました。

平成26年からは、6月の訓練を「当地区が震度6弱以上の地震に襲われたことを想定して行う」ものに変更し、自治会災害対策本部の立ち上げ、各種の救援活動、現場各班との連携等を、役員及び班のグループリーダーを対象に毎回50名程度の参加者を得て行っています。

また、新たに、同年11月からは、「西志津地区の災害と防災」のテーマで、当地区の自然環境、住宅や道路事情を踏まえた現実味のある防災セミナーを実施し、毎回80名程度の参加者を得て、当地区住民の防災意識の底上げを図っています。

今後に向けて、代表の加藤さんは「まずは、これまでの活動を地道に積み重ねていき、当エリアに居住する地域住民の防災意識の向上を図るとともに、さらには、西志津地区全体の取り組みとして、広げていきたい」との抱負をいただきました。



防災訓練



防災訓練



防災訓練

防災 助け合える関係づくりを！

ユーカリが丘4丁目自主防災委員会

「ユーカリが丘4丁目自主防災委員会」は、平成21年に設立され、ユーカリが丘4丁目のエリアに位置するウエストタワー、イーストタワー、サウスタワー、センターハイツ、スターリアの合計915世帯を対象に、「自分たちの生命と財産は自分たちで守る」ことを基本に、各種活動を行っています。

【いざという時に相互協力できる関係づくり】

主な活動概要として、訓練活動、啓発活動、防災用機材の購入と整備等を行っています。

今年度の活動の詳細ですが、訓練活動の内訳としては、6月に防災初動訓練を行



AED訓練等



消火器訓練

い、94名の参加、10月の消防訓練では97名の参加がありました。

啓発活動の内訳としては、8月に防災イベント「ハワイアン・ライブ in スカイプラザ」を開催し49名の参加がありました。



防災に関する講演

また、地域住民の防災意識の底上げを目的に、6月・8月・10月に防災だよりの作成・配布を全世帯に行いました。

防災用機材の購入と整備の内訳としては、鍋、ガスコンロ、ヤカン、医療用品一式、防災用ベスト、防災用ヘルメット、簡易トイレ用品、LEDライト、笛等を購入・整備しました。来年度予算として、管理組合と自治会に「一時待避所設置提案」をし、了承されました。

最後に今後に向けて、委員長の長田さんより、「高層マンションに特有な条件に応じた大規模地震をはじめとする災害に適切に対応できるよう自主防災委員会、自治会、管理会社、管理組合の4者による緊密な連携を図りながら、消防、安否確認、避難などの訓練、イベントや防災だよりなどの啓発活動、必要な防災機器・備品の整備などの方策を徹底していきたい」との抱負をいただきました。



安否確認札